

文 献

第1章

Super, D.E. & Bohn, M. J. Jr. (1970), Occupational Psychology, Belmont, California: Wadsworth Publishing Company, Inc. (藤本喜八・大沢武志訳「(企業の行動科学6) 職業の心理」ダイヤモンド社、1973年).

松本純平(2006) 研究目標の設定(労働政策研究・研修機構 2006 「中高年求職者の再就職支援のためのツール等の開発 プロジェクト研究「ホワイトカラーを中心とした中高年離職者の再就職支援等に関する研究——中間報告——」」 労働政策研究報告書 No.66,p.7-24.).

第2章

島田睦雄(2006) 「管理機能行動目録」の開発(労働政策研究・研修機構 2006 「中高年求職者の再就職支援のためのツール等の開発 プロジェクト研究「ホワイトカラーを中心とした中高年離職者の再就職支援等に関する研究——中間報告——」」 労働政策研究報告書 No.66,p.25-45.).

第3章

長縄久生(2006) 作動記憶と短期記憶の測定と評価(労働政策研究・研修機構 2006 「中高年求職者の再就職支援のためのツール等の開発 プロジェクト研究「ホワイトカラーを中心とした中高年離職者の再就職支援等に関する研究——中間報告——」」 労働政策研究報告書 No.66,p.46-63.).

第4章

山下利之(2006) “心の硬さ”の測定と評価(労働政策研究・研修機構 2006 「中高年求職者の再就職支援のためのツール等の開発 プロジェクト研究「ホワイトカラーを中心とした中高年離職者の再就職支援等に関する研究——中間報告——」」 労働政策研究報告書 No.66,p.64-77.).

第5章

Holland, J. L. (1985) Making Vocational Choices. 2nd.ed. Prentice-Hall. Inc.

- 深町珠由 (2006a) 中高年齢者向け職業適性診断システムにおける行動特性尺度策定の試み, JILPTディスカッションペーパー, 06-02.
- 深町珠由 (2006b) 中高年齢者向けキャリアガイダンスシステム開発の試み — 行動特性尺度の策定へ向けて — 日本テスト学会第4回大会発表論文集, p.160-161.
- 深町珠由 (2006c) 中高年齢者の行動特性に関する調査研究 — 行動特性に関する適性診断コーナーの開発 — 日本キャリア教育学会第28回研究大会発表論文集, p.102-103.
- 深町珠由・室山晴美・松本純平・宮崎利行(2005) 中高年齢者の職業適性に関する調査研究 (Ⅱ) — 中高年就業者における行動特性の分析 — 日本心理学会第69回大会発表論文集, p.96.
- 深町珠由・室山晴美・松本純平 (2006) 中高年齢者向けキャリアガイダンスシステムの開発に関する研究 (Ⅱ) — 行動特性尺度の安定性に関する検討 — 日本心理学会第70回大会発表論文集, p.168.
- 室山晴美(2006a) キャリア・プランニングを支援するための新たなガイダンスツールの開発 (労働政策研究・研修機構 2006 「中高年求職者の再就職支援のためのツール等の開発 プロジェクト研究「ホワイトカラーを中心とした中高年離職者の再就職支援等に関する研究 — 中間報告 —」」労働政策研究報告書 No.66, p.85-110.)
- 室山晴美(2006b) 中高年向けのガイダンス・システム「キャリア・インサイトMC」の開発 Business Labor Trend, 12月号, p.10-12.
- 室山晴美・深町珠由・松本純平・宮崎利行(2005) 中高年齢者の職業適性に関する調査研究 (Ⅰ) — 能力評価の枠組みと結果 — 日本心理学会第69回大会発表論文集, p.95.
- 室山晴美・深町珠由・松本純平 (2006) 中高年齢者向けキャリアガイダンスシステムの開発に関する研究 (Ⅰ) — 興味評価の枠組みと結果 — 日本心理学会第70回大会発表論文集, p.167.

第6章

Cochran, L. (1997) *Career counseling: A narrative approach*. Thousand Oaks,

CA: Sage Publications.

Collin, A. (2000) Dancing to the Music of Time. In A. Collin & R. A. Young (Eds.) *The Future of Career*. p.83-97. Cambridge University Press.

榎野 潤 (2006a) 職業相談・職業紹介逐語記録作成・解析システムの開発
日本カウンセリング学会第39回大会発表論文集,p.251.

榎野 潤 (2006b) 職業相談を通じての援助を分析する *Business Labor Trend*, 12月号, p13-15.

榎野 潤・松本純平 (2006) ハローワークにおける職業相談の研究 *日本産業カウンセリング学会第11回大会発表論文集*,p.144-145.

木村 周 (2003) キャリア・カウンセリングに関連する諸理論 (「キャリア・カウンセリング 理論と実際、その今日的意義 (改訂新版)」 雇用問題研究会, p.11-55.).

McAdams,D.P. (1995) What do we know when we know a person? *Journal of Personality*, 63,p.365-396.

Morgan, A. (2000) *What is narrative therapy:An easy to read introduction*. Dalwich Centre Publications.

Parsons, F. (1909) *Choosing a vocation*. New York:Agathon Press.

Peavy, V. (1996) Counselling as a culture of healing. *British Journal of Guidance and Counselling*, 24(1).

Savickas, M.L. (1997) Constructivist career counseling:Models and methods. In R. Neimeyer & G.Neimeyer (Eds.), *Advances in personal construct psychology*. Vol.4, p.149-182. Greenwich, CT:JAI Press.

Savickas, M.L. (2002) Career construction. A developmental theory of vocational behavior. In D. Brown & Associates (Eds.) *Career choice and development (4th. Ed.)*. San Francisco: Jossey Bass.

下村英雄 (2001) 公的機関の職業相談の実態 (日本労働研究機構「公的機関の職業相談」 資料シリーズ No.113,p.25-58.).

Super, D.E. (1953) A theory of vocational development. *American Psycholgist*, 8, p.185-190.

Super, D.E. (1963) Self concepts in vocational development. In D. E. Super, R.

Starishevsky, N. Matlin, & J. P. Joordan, *Career development: Self-concept theory*. p.17-32. New York: College Entrance Examination Board.

Super, D.E. (1990) A life-span, life-space to career development. In D. Brown, L. Brooks, & Associates, *Career choice and development 2nd*. p.197-261. San Francisco: Jossey-Bass.

東京都立労働研究所 (1996) 東京の中高年離職者たち～長期不況下の企業の行動・労働者の意識 労働市場調査研究 No.18.

渡辺三枝子 (2003) ドナルド・スーパー (渡辺三枝子編著「キャリアの心理学」ナカニシヤ出版,p.1-22.).

索引

[あ]

オペレーションスパン 12、61、67～69、81～82

[か]

過度の規律遵守 90、93、96
管理機能行動目録 9～10、12、34～37、39～40、46、48、52、60、77、99、100
管理機能尺度値 10、43～45、48、50～51
緊急的対策 22
恒常的課題 22
高年齢者就業実態調査 210～211
コーディング・マニュアル 161～162
心の硬さ 12、85～89、90、93～94、96～97、99～100
心の硬さ尺度 12～13、29、85～89、99、100
固執性 90～92、94～95
個人主導のキャリア形成 32
雇用動向調査 192、210、215

[さ]

再就職支援サービス 6、8～9、14～15、18、21～22、25～27、29、32
作動記憶 11～12、60～63、66～68、78～79、81～83、99～100
Savickas M.L. 151～152
CACGs (Computer Assisted Careers Guidance System) 14、30、102、114
CC 158、161
JS 158、161、164

社会構成主義 16、149～150、152、186

遮断 172

柔軟性・応用力の欠如 89、91、95

循環的な過程 26

情報処理能力 60

職業相談 8～9、14～18、20～21、29、31～32、35、47～48、50、60、97～98、102～103、132、139、143、145、148～151、153～159、161、163、169～170、172、178、183～186、188～190

職業相談・職業紹介逐語記録作成・解析システム 16、17、150、156～157、183

職業適合性 29

職業的自己概念 151

職業適性検査 34～36、40、46～48、63、71、79

職業発達理論 150～152

職務遂行能力 9、34～38、40、44、46、49～50、98～99

職務分析 34～35

Super, D.E. 29、151

ストーリー 152～156

専門家主導のタイプ 30

想像力・創造性の欠如 90、92、96

[た]

短期記憶 12、60～61、70～72、74～82、99～100

逐語記録 16～17、28、32、150、156～157、161～162、169～170、183、189

注意制御能力 83

中高年齢者 34～35、39、45～48、51、
60、62、69～70、76、78～79、81
～82、85～86、93、97～99

長期記憶 12、71、76、78

DPT 108～109、134

d' (dプライム) 75～76、79～80

適職判断 9、35、46～47

適用範囲 30、39、61、70、86

特性・因子理論 150～152

[な]

ナラティブ 152、155

[は]

Parsons, F. 150

発言 32、157～158、161、163～164、
172～173、175、183～184、189

発話コード 157、170

発話 16、157～167、169～179、181～
188、190

発話分類 157、159～161、168～170、
190

発話分類表 159～160

非順応性 12、89～91

表現技法 16、32、150、155～157、
159～162、169、172、174～175、
183～187

標準得点 43、75、79

ホランド 107

[ま]

mid-career 31

問題解決場面 9、34～38、40～42、46、
94、99

[ら]

利用者主導のタイプ 30
例示職業 50

[わ]

ワーキングメモリー 62

執筆担当者

松本 純平	労働政策研究・研修機構統括研究員	概要、第1章
島田 睦雄	労働政策研究・研修機構アドバイザー・リサーチャー	第2章
長縄 久生	労働政策研究・研修機構主任研究員	第3章
山下 利之	労働政策研究・研修機構特別研究員 (首都大学東京都市教養学部教授)	第4章
室山 晴美	労働政策研究・研修機構主任研究員	第5章第1節～第3節 第5節～第7節
深町 珠由	労働政策研究・研修機構研究員	第5章第4節
榎野 潤	労働政策研究・研修機構副主任研究員	第6章
岩脇 千裕	労働政策研究・研修機構研究員	資料

[平成19年3月31日現在]

プロジェクト研究シリーズNo.8

ミッド・キャリア層の再就職支援

新たなガイダンス・ツールの開発

〔ホワイトカラーを中心とした中高年離職者の再就職支援等に関する研究〕

2007年4月20日 第1刷発行

編 者 (独)労働政策研究・研修機構 (JILPT)

発行者 吉田克己

発行所 (独)労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

電話03-5903-6111

印刷所 株式会社 上野高速印刷

© 2007 JILPT ISBN 978-4-538-46008-6 Printed in Japan

プロジェクト研究シリーズ

- No.1 **地域雇用創出の新潮流**
統計分析と実態調査から見えてくる地域の実態
-
- No.2 **労働条件決定システムの現状と方向性**
集团的発言機構の整備・強化に向けて
-
- No.3 **これからの雇用戦略**
誰もが輝き活力あふれる社会を目指して
-
- No.4 **多様な働き方の実態と課題**
就業のダイバーシティを支えるセーフティネットの構築に向けて
-
- No.5 **日本の企業と雇用**
長期雇用と成果主義のゆくえ
-
- No.6 **日本の職業能力開発と教育訓練基盤の整備**
-
- No.7 **仕事と生活**
体系的両立支援の構築に向けて
-
- No.8 **ミッド・キャリア層の再就職支援**
新たなガイダンス・ツールの開発